

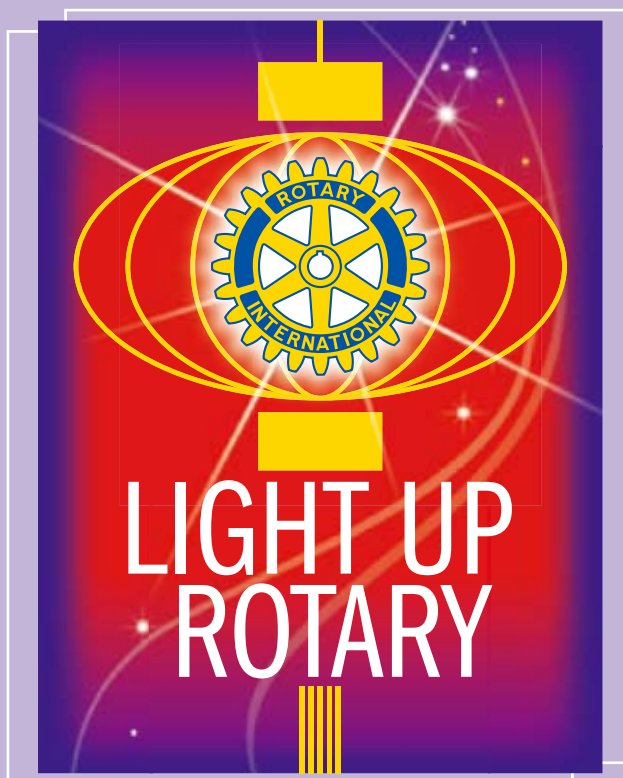
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014—2015 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー月信 **8**月号

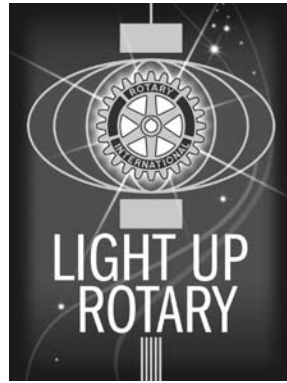
Vol.

2



国際ロータリー 第2660地区
2014—2015年度ガバナー

泉 博朗



2014-2015 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 8月号

CONTENTS

Vol.2

ガバナーメッセージ(会員増強・拡大月間)	1
会員増強・拡大月間にあたって	2
ガバナー候補者推薦について	3
来日学生・派遣生歓送会	4
青少年交換プログラム 2015~2016年度 派遣学生募集要項	5
第2660地区 インターアクト新入生歓迎会	6
ロータリー財団情報	7
2016年 規定審議会・立法案提出について	9
コーディネーターニュース	10
会員増強とロータリー・コーディネーターについて	11
若手ロータリアン研修セミナー・交流会開催のお知らせ	12
文庫通信	13
敬弔／お知らせ	14

会員増強・拡大月間にあたって 「会員増強」はクラブ活動の成果

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



「会員増強」はロータリーの目的ではありません。「会員増強」はクラブ活動の活性化のための手段です。そして、「会員増強」はクラブの活性度と連動しています。「会員増強」が図られれば、クラブの活動は活性化します。また、クラブが活性化されれば「会員増強」が図られます。

いままで、「会員増強」のために様々な活動をしてきました。年度が替わりました今、原点に立ち返り、あらためて考え直していきたいと思えます。その基本は「クラブの活性化」であります。

クラブ活動の結果として、賛同者が増えれば、入会数が増え、現会員が納得する活動があれば、退会はありません。要は、各クラブの現会員が納得している活動、私も参加したいと思えるような活動をすれば結果として入会者は増えます。決して、革新的なことが必要ではありません。花一輪、気の利いた一言、笑顔、感謝の言葉、寛容の精神、今すぐにでもできることがむしろ大切です。

しかしながら、ロータリーも組織であります。会員の減少は現実的に、クラブの運営にさまざまな形で支障をきたしています。地区としては、会員の減少に歯止めをかけ、会員の増強に転じることが役割の一つであることは間違いありません。

そして会員の多くは、企業人、組織人であり、ロータリーはまったく「利害」、「縛り」のない組織であります、むしろ、会費の出費や多くの奉仕活動の無償の活動をしています。そのような組織で現在のような会員数を維持できている事、ある意味不思議なことではありませんか。やはり、それほどに魅力のある組織であるわけです。

その魅力は一体何でしょうか。それはおそらくクラブの個性ではないでしょうか、決してロータリークラブは「組織」ではなく、正に「仲間」という意識の方が強いのではないのでしょうか。厳しい環境の中での「オアシス」のような存在が、現在のロータリーにも十分に残っているのではないのでしょうか。自信をもって、クラブの活動を推進していただきたいと思えます。

「親睦は石垣、奉仕は城」という言葉を地区研修・協議会でお伝えしました。「親睦」という燃料で「奉仕」の炎を燃やしていただきたいとお願ひいたしました。「奉仕」の活動が「親睦」を深めることを多く経験してきました。皆様が自信を持ってクラブ活動をしていただく事が、結

果として「会員増強」を達成することではないでしょうか。そのために、地区として様々なクラブへの支援活動を行いたいと思っております。

●地区の役割

確かに、クラブとして、自信をもって活動をしていただきたいわけではありますが、地区としてはやはり、会員増強・拡大を支援する役割があります。

1. ロータリー情報の伝達

温故知新といいますが、ロータリーの歴史を知り、活動に役立てていただく、また、新しいニュースを提供する

2. 地区委員会によるロータリーらしい奉仕活動の紹介、支援

3. 補助金による奉仕活動の支援

4. 地区研修・委員会、各地区委員会によるセミナー

5. P E T S、地区研修・協議会などによる、クラブリーダー研修

6. ロータリーの広報活動（認知度の向上）

など、地区として、クラブの皆様の活性化、会員増強のために活動いたします。

●若手ロータリアンの研修セミナー・懇親会の実施

若手ロータリアンの皆様にクラブを超えたつながりを持っていただき、ロータリーの素晴らしさを理解していただくために開催いたします（新規会員の勧誘、退会の防止）

●ロータリーフェスティバルの実施

ゲイリー・ホァンR I 会長提唱のロータリーデーをロータリーの認知度の向上をめざし、「ロータリーフェスティバル」として実施いたします。

2015年5月5日 中之島公会堂およびその周辺

●地区増強目標「すべてのクラブで純増1名を達成」

この目標が達成されなければ、私は地区の運営に失敗したとの判断をいたすつもりであります。

私たち地区委員、地区事務局は、会員皆様に支援し、その結果として「会員増強」が図れることを目指しております。

「たのしいロータリー」(仲間と会えて楽しいな)

「待ち遠しいロータリー」(来週も出席しよう)

「わくわくするロータリー」(今日はロータリーがあるぞ)

会員増強・拡大月間にあたって

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

福田忠博

(大阪中之島RC)



今年度の期首の世界のロータリー会員数が、初めて120万人を割り込んだので、今年度は特に会員増強に尽力する旨の要請がR Iからありました。

一方、第2660地区の今年度の会員拡大増強セミナー(昨年度6月開催)では、セミナーに先がけて、各クラブに対してアンケートを行い、セミナーでそのアンケートを基にバズセッションを行い、その結論としては、クラブの充実、活性化が会員増強・退会防止につながるということでしたので、これを受けて、今年度はクラブの充実、活性化に努めながら、増強と退会防止に尽力したからでしょうか。地区の28クラブが会員増強・拡大賞を、1クラブが会員増強推進計画について、R I会長から表彰を受けました。

そこで、6月14日の次年度のための会員拡大・増強セミナーにおいては、地区を代表して4つのクラブに協力を頂き、どのようにクラブの充実を計り、どのように会員増強と退会防止に取

り組んでいるかについて、パネルディスカッションを行い、コーディネーターを中心にパネラーに意見を求めました。

協力していただいた4クラブの特徴は、

- (1) 会員増強で著しい実績のあるクラブ
- (2) 会員数が比較的多いにもかかわらず、退会者のないクラブ
- (3) R Iの要請する若い人を中心として、会費の下げを断行して、従来のロータリーの常識と異なる活動を行うために、新しく創立されたクラブ
- (4) クラブの合併を実行し、クラブの活性化を計ったクラブ

そこでの結論は、会員増強、退会防止策は過去から多くの提案が出尽くしており、要は、クラブでの増強計画を忠実に実行することであるとの結論に達しました。

2017-2018年度 ガバナー候補者推薦について

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **泉 博朗**
(大阪帝塚山RC)

地区ガバナー指名委員会 委員長 **福家 宏**
(八尾中央RC)

R I 細則13.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により地区内の各クラブで2017年-2018年度ガバナー候補者がおられましたら、2014年10月31日までにガバナー指名委員会委員長(地区ガバナー事務所)宛に必着するよう提案して下さい。

なお、2017-2018年度に地区ガバナーにノミネートされるための資格条件については、国際ロ

ータリー細則第15条15.070、15.070.1~15.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニ候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された候補者に限定されるものではない、ということをお断り下さい。

R I 細則第13条13.020.5(参照)

来日学生・派遣生歓送会

2013-2014年度 青少年交換委員会 委員長

辻村和弘

(大阪大手前RC)

6月14日(土)シティプラザ大阪で、2013-2014年度青少年交換委員会主催の、来日学生・派遣生の歓送会を開催致しました。本年度は5名の来日学生と9名の派遣生となり、例年よりも参加者が多く盛大な会となりました。

9名の派遣生は昨年10月より7回のオリエンテーションを経て、本日無事派遣候補生から派遣生となりました。

この7ヶ月間彼らは学校の勉強と並行しながら立派な派遣生となるべく、語学をはじめロータリー派遣生としての様々なスキルを学び、いよいよ8月には親善大使として派遣国で10カ月間のホームステイでの生活を開始し、普通の留学では学べない事を体験し、それらをすべて吸収して、大きくなって帰ってきます。今から成長して帰ってくる姿を想像するだけで、大変楽しみです。

本年度5名の来日学生は、例年にも増して個性的で立派な学生達でした。

エミリー(アメリカ)は大変しっかりしており、皆を引っ張ってくれました。エリザベス(カナ

ダ)は歌が大変上手く、色々な機会に歌声を聴かせてくれました。セリアヌヌ(フランス)は大変明るく、皆のムードメーカーでした。アマデウス(アメリカ)はおしゃれで、会う度に違ったファッションで楽しませてくれました。クウ(アメリカ)は大変子供好きで、ホストファミリーの子供達の人気者でした。

10ヶ月間の彼らとの生活で、我々ロータリアンも色々な事を学ばせてもらいました。彼らとも今日で一旦お別れだと思つと大変寂しいですが、将来もっと立派になって、きっと日本に戻つて来てくれると信じています。

そして、これらの若者達が必ず将来の世界平和の中心になってくれることと信じています。そして1年間彼らと色々な体験が出来たことが、私の今後の大きな財産となりました。

最後に、英語も出来ない頼りない委員長でしたが、周りの皆様、特に委員会メンバーの皆様の御陰で、1年間無事任務を全うする事が出来ました。本当に有難う御座いました。



青少年交換プログラム

2015～2016年度 派遣学生募集要項

青少年交換委員会 委員長 **山本 喬一**
(大阪天満橋RC)

青少年交換プログラムは、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせあい、我が子のように育ててみようという試みに端を発しています。子どもたちは異国という厳しい環境の中、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで、異文化にふれあい、生活することで互いの立場や違いを認め、尊重する真の国際人として成長していきます。そしてこのプログラムは、次世代の青少年の育成という有意義な奉仕活動として認められ、1972年にR Iの定める正式プログラムとなりました。近年、世界中で年間7,000人の16歳から18歳の高校生が参加しています。

こうしたプログラムの成り立ちから、青少年交換プログラムのみ、ロータリアンの子弟参加が認められています。また、ロータリアンの子弟のみならず、関係者の子弟、または来日学生達がお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。

次年度(2015～2016年度)の青少年交換学生を下記の要領で募集いたします。各クラブにおかれましては、このプログラムの次世代を担う青少年の育成という趣旨と目的をご理解いただきまして、是非ともご参加していただきますようお願いいたします。

1. 主な交換相手国

アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、ブラジル、オーストラリア、スイス、スウェーデン、台湾、ポーランドなど

2. 交換期間

- ・2015年8月に出発し、期間は約1年間。
- ・採用及び派遣先は青少年交換委員会において決定します。

3. 交換内容

各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。

現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に努めます。

4. 費用

プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費、教育費(高校)の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格

- 1) 出発時、16～18歳の高校生であること。
- 2) 健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は、学年で上位1/3以内の者。(在学高校により

差があるので、相談に応じます。)

- 3) 異文化、異なる環境で1年間過ごすことができる積極性と適応力を備えていること。
- 4) 国や地域およびロータリーの親善大使としての使命を理解し、将来、日本国内や海外で活躍が期待できる学生であること
- 5) 学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。(派遣中における現在の学校での単位取得等に関しましては、各学校とご相談下さい。また、派遣相手国での学校の単位は基本的には取得できません。)
- 6) ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。

6. 応募期限と募集人員

2014年8月30日(土)(期限を厳守願います。)
募集人員は5～8名程度とさせていただきます。

7. 応募方法

応募者は、スポンサークラブを通じて地区青少年交換委員会またはガバナー事務所にお申込みください。なお、申込書はガバナー事務所までご請求ください。

8. 来日学生の受入

原則として、派遣学生を送出したロータリークラブは、交換相手国より来日学生を受け入れなければならないりません。

来日学生受入クラブには、地区予算より支援金が支給されます。支援金は受入人数や地区予算で減額となる場合があります。(2014-15年度は40万円の予定です。)

9. 短期交換プログラム

1年間の長期交換のほかに、夏休みなどに数週間ずつ交換する短期交換プログラムもあります。

お問い合わせは、ガバナー事務所まで。



来日学生と派遣学生の広島研修旅行(2680地区と合同)

第2660地区 インターアクト新入生歓迎会

インターアクト委員会 委員長 **鮫島武信**
(大阪南RC)

6月1日、盛夏を思わず晴天の日曜日、インターアクト新入生歓迎会は開催されました。

四天王寺学園中学・高等学校に、大阪桐蔭・浪速・金光八尾・清風・相愛・大阪国際大和田・四天王寺の各校における中学生・高校生のインターアクター119名、顧問の先生19名、ロータリアン30名、事務局1名の合計169名が集まり、新入生歓迎会を行いました。

【開会式】

開会式では、松井隆雄委員長から新入生に対する歓迎の言葉とインターアクトの活動内容等についての説明がありました。また、福家ガバナー代理の新見葵ガバナー補佐からは、青少年の健全な育成にインターアクトクラブの果たす役割の重要性と期待を込めた激励の言葉が贈られました。

【天王寺七坂へのウォークラリー】

参加したインターアクターとロータリアンは、10人程度のグループに分かれて、ウォークラリーに出発しました。グループのリーダー役は、四天王寺学園のインターアクターが務めて、彼女たちの引率により、四天王寺七坂を巡りました。四天王寺七坂とは、南から北へ、逢坂(おうさか)、天神坂(てんじんざか)、清水坂(きよみずざか)、愛染坂(あいぜんざか)、口縄坂(くちなわざか)、源聖寺坂(げんしょうじざか)、真言坂(しんごんざか)の上町台地沿いに並ぶ七つの坂の総称です。真田幸村の終焉の地と言われその碑と像があったり、大阪の夏祭のスタートとなる愛染堂があったりと、それぞれの歴史と特色をもった坂を、近くの社寺仏閣に備えつけられたスタンプを押しながら、登ったり下ったり、汗をかきかき巡りました。

予定時間内に七つの坂を回れたグループ、予定時間を厳守して全部の坂を回れなかったグループ、予定時間を少々オーバーしても全部の坂を回ったグループなど、各グループで、その判断が分されました。いずれのグループでも、リーダーを中心にその方針が決定され、炎天下でも熱中症になることなく、全員が無事、ゴールしました。リーダーシップの養成という、インターアクトクラブ提唱の目的からも、意義深いウォークラリーとなりました。

【落語会】

昼食後には、ボランティアの落語家2名による落語会が行われ、「天王寺参り」の落語を楽しみました。会場の

四天王寺学園は四天王寺の境内にありますが、「天王寺参り」は、この四天王寺に詣でる情景を面白可笑しく描いた落語です。午前中に巡った四天王寺七坂を思いながら、四天王寺に参拝する壱を聞くと、普通の落語会では味わえない時空を超えた立体的な壱の世界に引き込まれてしまいました。

【閉会式】

閉会式では、次年度当番校(幹事校)への地区旗の引継ぎがなされると共に、2013~2014年度に7つ目のインターアクトクラブとして誕生した大阪国際大和田中学校・高等学校(守口イブニングRC提唱)の紹介と挨拶が行われました。この新しいクラブの誕生を祝うと共に、行事中には、学校の柵を超えてインターアクター同士の会話が聞こえたり、インターアクターとロータリアンとが散策ルートを相談したり、坂に因む話をロータリアンがインターアクター達に聞かせたりと、新入生を歓迎すると共に世代を超えた交流がなされ、意義ある行事となったと存じます。

最後になりましたが、このような素晴らしい新入生歓迎会を企画、運営して頂きました四天王寺学園中学・高等学校のインターアクトクラブの皆さま、顧問の先生方、大阪天王寺ロータリークラブの皆さま、そしてガバナー事務所の皆さまに心から感謝申し上げます。

今後ともインターアクトクラブの活動に、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。



ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信

(東大阪東RC)

平素はロータリー財団に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度に引き続いて地区財団委員長を仰せつかっております。

2013年7月より全世界で導入されましたロータリー財団の新補助金制度は皆様の積極的な財団プログラムへのご参加により、当地区は現在、地区補助金及びグローバル補助金ともに日本のモデル地区と評価される位に活発に活動頂いております。

2013-14年度地区補助金は、44件のクラブからの申請(奨学金1件、国際奉仕10件、災害復興11件、社会奉仕22件)と、1件の地区からの申請(フィリピンの台風被害に対する支援)が承認を受けました。

また2013-14年度グローバル補助金は、奨学金で3件、人道的国際奉仕分野は代表申請で7件、共同申請で3件の承認を受けました。これは日本で第一位の承認件数であります。今年度も、財団プログラムへの積極的なご参加によりクラブの活性化に繋げて頂ければ幸いです。

ゲイリー C.K. ホァン 2014-15年度RI会長のメッセージ

世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。地元社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さんご自身のほうがお分かりになるでしょう。

ジョン・ケニー 2014-15年度ロータリー財団管理委員長は2014-15年度財団目標を、

- ① ポリオを撲滅する。今こそ目標を達成しよう。
- ② 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。
- ③ 持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確かなものとする。
- ④ ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、世界理解、親善、平和を育む。
- ⑤ ロータリー財団の未来の健全性は自分たちにかかっていることを強調する。

としており、この目標の達成を目指しましょう。

寄付目標

2014-15年度の年次基金目標はUS\$123,000,000とすることが管理委員により承認されました。

本年度の日本の目標は、

日本の一人あたりの年次基金：\$150

ポリオプラス：\$1,500(クラブ) / DDF の20% (地区)

寄付と認証

ポール・ハリス・ソサエティは、毎年1,000ドルを年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金に個人として寄付するロータリアンやロータリー財団の支援者を認証するプログラムです。管理委員会で2013年7月からロータリー財団の公式認証プログラムになることを決定しました。2013-14年度福家ガバナーは、この認証プログラム推進のため地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターを任命し、今年度泉ガバナーも引き続き任命しました。ご協力よろしくお願い申し上げます。

冠名基金

現在、日本の冠名基金は120あり、多くの方がご自身やご家族、お子様のお名前のついた基金を設立しています。冠名基金は\$25,000以上の恒久基金へのご寄付(累計も含む)で設立することができ、個人だけでなく、地区やクラブとしても設立が可能です。DDFの繰り越しやイベント等で一般から集められたご寄付なども設立資金としてご活用いただけます。

ポリオプラス

東南アジアがポリオフリーに——これを足がかりに、世界からポリオを撲滅しよう

ロータリーが懸命に取り組んでいるポリオ撲滅活動。3月には、世界保健機関(WHO)が東南アジア地域を「ポリオフリー」(ポリオのない

地域)として正式に宣言するという明るいニュースが流れました。東南アジア地域に含まれる11カ国の人口は18億人以上。まさに、世界人口の約25パーセントに当たります。

【ポリオ症例数】

2014年7月8日現在のポリオ症例数です。

	2014年1月1日~7月8日	2013年
アフガニスタン	7	14
パキスタン	90	93
ナイジェリア	5	53
ポリオ常在国以外	13	256
世界合計	115	416

現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ロータリー財団地域セミナー (Zone 1.2.3)

2014年7月2日(火)、東京で「ロータリー財団地域セミナー」が開催され、全国から約300名が参加しました。

今回のセミナーでは、2014-15年度ロータリー財団目標、ロータリー日本財団の現状、大口寄付の重要性、ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画、元ロータリー平和フェローからの報告(ロータリー平和フェロー第2期生 岸谷美穂)、補助金のオンライン申請手続き、グローバル補助金VTT報告、日本のロータリー平和フェローシップの現状、ロータリーカードの普及、グローバル補助金奨学生報告(RID2770学友 大塚桃子)など多岐にわたるものでした。

ロータリーカード

ロータリーカードに「ビジネスカード」が誕生しました。これにより「ゴールド」と「スタンダード」を加えた合計3種類のロータリーカードから目的に応じた利用方法を選べます。利用金額の0.5%と年会費3,150円(税込)のうち1,500円が自動的にロータリー財団に寄付されます。ビジネスカードを利用して会社の経費を決済するたびにロータリー財団へも貢献することがで

きます。新規入会者1名(メンバー会員含む)につき、1,000円が地区の年次基金となります。是非「ビジネスカード」をお申込みください。

補助金に関する決定事項

4月の管理委員会で地区補助金の要件などの変更が決議されました。

● 地区補助金の要件：

地区補助金で、青少年プログラム(ロータリー青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクトなど)、建設(低廉住宅を含む)、協力団体の職員による補助金関連の旅行、奨学生のためのオリエンテーションセミナー、補助金管理セミナー、主にロータリー以外の団体によって実施されている活動に資金を充てることができるようになりました。

ただし、補助金の要件の範囲内での緩和となりますので、プロジェクトはロータリークラブまたは地区が提唱者として内容を把握し領収書の保管など資金管理をしなければなりません。また旅費を伴う場合はBCDトラベルを利用し、利害の衝突の観点から、青少年交換学生として派遣する場合でもロータリアンの子、孫などに補助金を利用することはできませんのでご注意ください。この変更は即時適用となります。

● 重点分野の基本方針：

管理委員会は、「経済と地域社会の発展」の重点分野における基本方針の文言をより明確にするため、修正を加えました。

地域社会でのインフラプロジェクトは引き続き補助金の対象とはなりません、「収入を得るために、物やサービスを創出・配布する地域社会の人びとの能力を大幅に高める場合を除く」との文言が付け加えられました。

● パッケージ・グラント：

全体的な評価の結果、管理委員会は、財団の戦略パートナーとのパッケージ・グラントを延長しないことを決定しました。

現在進行中の活動が完了次第、パッケージ・グラントは終了となります。

2016年 規定審議会・立法案提出について

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **泉 博朗**
(大阪帝塚山RC)

2016年規定審議会・地区代表議員 **横山守雄**
(大阪中央RC)

本年7月1日付けで各クラブ会長・幹事宛に、2016年規定審議会への立法案提出についての当地区の取組みについてお知らせしましたが、ご承知のとおり、3年に1度開催されますR I 規定審議会への立法案(制定案・決議案)の提出は各クラブ及び地区から提案できます。ご提出を考えておられるクラブにおかれては、以下の要領で提案書をご提出下さいますようお願い致します。

1. 提出期限

平成26年10月31日限り。当地区ガバナー事務所必着。

R I への提出期限は同年12月31日ですが、地区大会での承認が必要ですし、提出以前に必要な手続を考慮して10月末を地区への提出期限としております。

2. 提案方法

- ①クラブ理事会が立法案を会員に通知した上で、クラブ例会で採択して下さい。
- ②採択された立法案にクラブが採択したことを証明するクラブ会長と幹事の署名入りの書簡を添えて、当地区ガバナー事務所へ送付して下さい。

3. 提案書

提出する立法案には以下の項目を含めて下さい。

- ①提案クラブ名
- ②提案の趣旨および効果に関する300語以内の説明文
- ③提案する組織規定の変更を入れた(下線又は取消線使用)ワード文書(組織規定のワード文書は、ロータリーのウェブサイト(www.rotary.org/myrotary/ja)の「ラーニング&参考資料」のメニューにある「組織規定」からダウンロードできます)

4. 地区の承認

地区に送付された立法案は平成26年12月開催の地区大会で地区の承認を得ます。地区承認を受けていない立法案は、規定審議会に提出できません。

5. 立法案提出

地区大会で承認を受けた立法案は、平成26年12月31日までにガバナーからR I に提出します。

【詳細は、2013年手続要覧113頁以下をご参照下さい。】

コーディネーターニュース

R I 戦略計画とコーディネーターの責務

第2ゾーン ロータリー・コーディネーター **金杉 誠**

この度、日本の3ゾーンのコーディネーターとアドバイザーで共通のニュースレターを配信する事とし、ガバナー会においてR I 理事よりその一部をガバナー月信に掲載するよう要請されました。ガバナーの皆様は是非クラブ会員の皆様方にも情報をお届け頂ければ幸いです。

その趣旨はR I 戦略計画に基づき、各ゾーン3人のコーディネーターが任命され[ロータリー・コーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージ・コーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)]、それぞれ補佐も任命されておりますし、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)も活躍されておりますが、クラブの皆様へのコーディネーター、アドバイザーの責務のご理解の促進と、日本の34の地区とクラブの戦略計画への取り組みの情報共有を目的としたものです。

世界全体の会員数は120万人前後と横ばい状態を続けているとともに、日本やアメリカ等ロータリー先進国が激減をしております。そのことに対して危機感を持ったR I は、10年以上の歳月と外部のコンサルタントや膨大な数のアンケート調査、理事経験者を中心とした沢山の議論を通じて、クラブリーダーシッププラン(CLP)をはじめとして様々な改革案を試み、その集大成ともいべきものがR I 戦略計画です。

R I 戦略計画には3つの重点目標があります。「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の増加と重点化」、「公共イメージと認知度の向上」の3つで、それぞれの目標達成のために責任があるのがRC、RRFC、RPICの3人のコーディネーターです。

R I 本部にはコーディネーター部が創設され10人ぐらいのスタッフが我々を補佐する体制になっておりますが、残念ながら日本国内においては一部の地区やクラブを除いてCLPの導入や戦略計画の立案は進捗していないのが実情です。

日本全体では33人のコーディネーターと同補佐、及び3人のEMGAがおりまして、各ガバナーの皆様方のお手伝いをする体制が整っております(R I から予算もいただいております)が、残念ながら各地区の研修へ呼ばれることがまだまだ少ないのです。各地区の地区協議会や拡大増強セミナー、PETS、地区チーム研修セミナー等、積極的にお声をかけてください。喜んでお手伝いに参ります。

R I 戦略計画は120万人の為の計画ですから大変すばらしいものです。一方クラブの戦略計画というと構えてしまうのも事実でしょう。大切なのは現在のクラブの活性化と3年後5年後のあるべき姿を、皆様方全員でしっかり話し合っていたきたいということです。20人のクラブと200のクラブでは自ずと違ってきますが、要は皆様のクラブがこのままで本当に良いのか、皆様方の言葉で、皆様方の議論を通じて、真剣に考え意見を集約してくださいということです。現状に安住するのが一番楽ですが一番悪いことです。勇気をもって挑戦しましょう。

私たちのより良いロータリーを作るために！ポール・ハリスも言っております。「ロータリー物語は時代とともに何度も書き換えられるでしょう」と。

会員増強と ロータリー・コーディネーターについて

第3ゾーン ロータリー・コーディネーター補佐

横山守雄

(大阪中央RC)

ロータリー・コーディネーター(RC)の役割と職責については、クラブリーダー、そして会員の皆様も、まだあまりご存知でないかもしれません。RI会長は世界のそれぞれの地域(ゾーン)を担当するRCを任命し、各クラブが活気に溢れ、ダイナミックになるための戦略計画立案と実践をどの様に進めたらよいか、その様な角度から地区及びクラブリーダーを側面から支援することになっています。即ち、より良いクラブ作りの為の推進役、モチベーター、助言者、情報源となり、各クラブと地区を支援することがRCに求められています。

各ゾーン担当のRI理事の下で、RCはロータリー公共イメージ・コーディネーター(RPIC)、及びロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)と協力し、RI戦略計画の重点活動項目全般を推進して行きます。具体的な活動としては、ゾーン内のDG・DGE・DGN・ADG・地区委員長などを対象に合同セミナーの開催、各地区の研修地区協議会、地区大会などでの研修セミナーへ講師として招聘されることがあります。

RIがRC制度の導入を始めたのは2011-12年度からですが、当初はRCがどの様な役割と

職責を担って活動しているのか、あまり知られておりませんでした。当地区の井上暎夫PDGが過去3年間、第3ゾーンRCとして活躍され、各地区及びクラブで本制度に対する認知度が次第に高まって参りました。またRCのもとに数名のRC補佐(ARC)が任命されます。

本年度第3ゾーンは、杉谷卓紀RI理事(D2720-熊本・大分地区)の下で、安満良明RC(D2730-鹿児島・宮崎地区)、大之木精二ARC(D2710-広島・山口地区)、及び横山守雄ARC(当地区)、以上の協力体制でRCの職務を進めて参ります。

第3ゾーンの本年度の活動方針を協議するため、RC及びRPIC関係者が6月18日にグランビアホテル大阪で打合せ会合を開きました。なお、第3ゾーンARPICとして、当地区の高島凱夫PDGが就任されています。そして本年度のRC及びRPICの重点活動方針として、クラブ及び地区の「戦略計画」の具体化を推進し、会員増強に繋げて行くことになりました。

第3ゾーン戦略計画推進セミナーは10月11日(土)、ホテルグランビア広島で開催されることになっております。関係者各位のご出席を宜しくお願い申し上げます。

若手ロータリアン 研修セミナー・交流会開催のお知らせ

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

福田忠博

(大阪中之島RC)

若手、新人会員の活性化を図り、クラブの活性化、結果として会員の増強に寄与することを目的としています。

- 今後ロータリーの中核となる若手(55歳以下)ロータリアン向け研修を行います
- 新人会員、会員によるご紹介者もご参加いただけます(会員増強のために)
- セミナー終了後交流会を行います

今年度CKホアンR I会長が提唱されているロータリーデーを地区で実践するために、当地区では2014年8月12日の若手ロータリアン研修セミナーと2015年5月5日のロータリーフェスティバルを新規イベントとして企画いたしました。

8月12日の若手ロータリアン研修セミナーは、55歳以下のロータリアンを対象に、クラブ横断的にネットワークを広げていただき、ロータリーの魅力をさらに大きくしてゆこうという試みの、第一弾です。木越元職業奉仕委員長の講演で、職業奉仕について認識を深め、さらに、自己紹介、名刺交換、懇親会を経て多くのロータリアンとネットワークを築いていただきたいと思います。

当初は、若手ロータリアン研修セミナー、ということで、55歳以下のロータリアンを対象と致しましたが、多くの会員様のご要望に応え、年齢

の枠を超えて、入会予定者の方、新入会員の方も大歓迎いたします。

ロータリーのネットワークを実感していただきたいと思っております。是非多くの方の参加をお願いします。

なお、参加申し込みが未だのクラブおよび追加登録をご希望の場合も受け付けておりますので、ガバナー事務局へお問い合わせをお願いします。

[若手ロータリアン研修セミナー]

8月12日(火) 6時開宴

会費 6000円

(クラブを通じてお支払ください)

心齋橋 大成閣 TEL: 06-6271-5238

地下鉄御堂筋線

心齋橋駅 5番・6番出口

大丸本館・北館の間を

東へ100m(徒歩2分)

クラブ横断的な若手ロータリアンの集会、入会希望者、新入会員の方も大歓迎

木越職業奉仕元委員長の講話、懇親会、名刺交換会

ロータリーの豊富な人脈を実感しませんか!?

お申込み、お問い合わせ

国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所

担当 加茂 kamo@ri2660.gr.jp

TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661

文庫通信 (322号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

■「日本のロータリアンに期待する」

ロン D バートン 2014 5p (第42回ロータリー研究会報告書)

■「R I 会長を終えて」

田中作次 2014 8p (第42回ロータリー研究会報告書)

■「北米におけるロータリー研究会」

G.Kenneth Morgan 2014 3p (第42回ロータリー研究会報告書)

■「世界のロータリー」

田中作次 2014 4p (D.2770地区大会の記録)

■「今こそ考えよう、ロータリーの心と基本－R I の最近の動きとクラブの対応」

富田英壽 2014 38p (魅力あるロータリーに)

■「RLI とは」

南園義一 2012 6p (RLI研修セミナーテキスト)

■「新戦略計画の理解と実践を」

南園義一 2014 2p (D.2780月信)

■「2013年版手続要覧『主な改定内容と解説』」

小船井修一 2014 3p (D.2500月信)

■「『職業奉仕フォーラム』実施の報告」

福田武男 2014 2p (D.2510月信)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

お知らせ

■ビジターフィー変更

大阪西北ロータリークラブ (2014年7月より)

現行：4,700円 → 変更後：4,800円

※第3週例会日「ミリオンランチ」現行：3,300円 → 変更後：3,700円

■ホームページアドレス変更

大阪平野ロータリークラブ

新アドレス <http://hiranorc.com/>

■訂正

ガバナー月信7月号、P31の「各クラブ創立日・認証日一覧表」に誤りがありました。

① 大阪御堂筋本町ロータリークラブ

【備考欄】 1月7月以外の第1例会は¥3,800 → フレンドリーミールは¥3,800

② 吹田江坂ロータリークラブ [周年] (空欄) → 25

③ 吹田西ロータリークラブ [周年] 25 → 35

④ 四條畷ロータリークラブ [周年] 30 → (空欄)

⑤ 新大阪ロータリークラブ [周年] (空欄) → 30

■奨学生受け入れのお願い

4月から台湾3480地区の親善大使奨学生として、潘 倩儀 (パン チェンイー) さん (関西大学大学院 社会学研究科 マスコミュニケーション専攻) が来日されています。

親善大使奨学生としての一年間、当地区内で日本の歴史、文化、生活等を学んで友好なる日本への関心と認識をますます高め、国際理解と交流の心を持つ大きな人格へと成長することを期待しております。

地区内の多数のクラブを訪問し、交流することを望んでおられますので、是非皆様のクラブでもゲストとして、また卓話者としてお気軽にお声掛け下さいますようお願いいたします。

連絡先はガバナー事務所をお願いいたします。



【略歴】

2009年6月 世新大学 パブリック・リレーションズ及び広告学科 卒業

2007～2014年 国際ロータリー 3480地区 台北城東ローターアクトクラブ所属

2012～2013年度 同ローターアクトクラブ会長

2009年8月～2014年3月 台湾博報堂媒体股份有限公司 メディアプランナーとして勤務

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
- 地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)
- 地区副代表幹事 新井 文三 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 澤田 正實 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 渡邊 純一 (大阪帝塚山RC)
- 事務局長 栗正 久美

2014-2015年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	泉 博朗
地区代表幹事	川上 富清
地区副代表幹事	新井 文三
事務局長	栗正 久美
事務局員	井上 望美
	加茂 春日
	池田 華江

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
夏季
2014年 8月13日(水)~
2014年 8月15日(金)
年末年始
2014年12月29日(月)~
2015年 1月 2日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp